

科 目 名	関門の芸術と文化
担 当 者 名 (リレー形式)	9月8日 (1回~3回) 横山 眞佐子 (株式会社こどもの広場代表取締役社長) 9月9日 (4回~6回) 飯田 哲也 (認定NPO法人環境エネルギー政策研究所所長) 9月10日 (7回~9回) 洲澤 育範 (革舟大工) 9月11日 (10回~12回) 新井 章吾 (株式会社海藻研究所所長) 9月12日 (13回~15回) 小川 仁志 (徳山工業高等専門学校准教授)

履 修 条 件	1年以上	単位数	2単位
期 間	9月8日(月)~9月12日(金) 10:40~16:10 (2時限~4時限)		
講 義 会 場	しものせき市民活動センター 大会議室		
科目提供大学	下関市立大学		

授業のねらい ・テーマ	関門の学生に、環境・エネルギー、絵本、アート、食文化、ツーリズム、地域の歴史、宗教といったさまざまな分野の第一線で実践的に活躍する、山口にゆかりのある第一人者からの講演とワークショップを通して、「自分で考えて行動する」為に必要な知識を得る一助になることを目標にしています。「関門(自分/日本/世界/地域と置き換える事が出来ます)の未来はどうなるのか」という人ごとのな立場ではなく、「関門(自分/日本/世界/地域と置き換える事が出来ます)の未来をどう創るか」という主体的な視点から講義と参加型のワークショップなどを行います。
テキスト	特に定めない。プリントを配付する。
参考文献	随時指示する。
授業内容または スケジュール	1回 絵本の世界と子ども達の未来①「子供たちに選ばせる図書活動」 2回 絵本の世界と子ども達の未来②「子供たちの図書への関心」 3回 絵本の世界と子ども達の未来③「子供たちに与える本の力」 4回 エネルギー革命と地域デモクラシーの未来①「人類史第四の革命」 5回 エネルギー革命と地域デモクラシーの未来②「大規模・中央集中型」 6回 エネルギー革命と地域デモクラシーの未来③「小規模分散・地域自立ネットワーク型」 7回 旅から賜る生き方の多様性①「白夜のアラスカ北極圏 動物に学ぶ家族のあり方」 8回 旅から賜る生き方の多様性②「極夜のアラスカ北極圏 誇りある家族の生き方」 9回 旅から賜る生き方の多様性③「下関市豊田町に暮らす 都市に媚びず田舎で生きる」 10回 里山・里海資本主義が拓く地域の未来①「里山・里海資本主義とは」 11回 里山・里海資本主義が拓く地域の未来②「里山の事例」 12回 里山・里海資本主義が拓く地域の未来③「里海の実例」 13回 関門の未来を哲学する①「社会参加と公共哲学」 14回 関門の未来を哲学する②「マチナカで哲学カフェ」 15回 関門の未来を哲学する③「哲学で日本を再生する」
授業に対する 準備事項	
成績評価の方法	講義ごとの質問や感想 50%、レポート 50%